



年金“天引かれ”の日に (磯原、サンユーストア前)

後期高齢者  
医療制度

年金「天引き」はじまる

全国で街頭から廃止を訴え



日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町登田1920-2  
毎週 日曜日 発行  
インターネットでも  
ご覧いただけます  
http://kth.geo.jp/jcp

ご相談は  
お気軽に  
市議会議員  
福田 明  
43-0468  
市議会議員  
鈴木やす子  
42-2462

後期高齢者医療制度の保険料が天引きされた4月15日、日本共産党では全国いっせいに街頭から同制度の廃止を求める宣伝をおこないました。

北茨城市内でも福田明、鈴木やす子の両市議が訴えました。磯原サンユーストア前では、涙ながらに駆け寄ってきて「何かあったら頼みます」と話す女性の姿がありました。

また「額の多少ではない。年寄りの年金から天引きする」という仕組みに腹が立つ。こんなこと誰が考えたんだ」という怒りの声や「大阪のほうでは、早よ死ね医療制度なんて呼んでる人もいます」と聞いたよ」という話も寄せられています。

この間、市役所への問合せは1日平均40件。さらに送付された保険証が見当たらないということでの再発行が約190件にのぼっています。党市議団は今後も大いに宣伝や署名をおこない廃止にむけてがんばる決意です。

生態系や環境は

市議会の産業委員会では、県の農村振興総合整備事業によって作られた用水路と取水堰を視察しました。

「豊かな田園自然環境を形



魚道を併設した華川町の伊豆堂堰



自然石を配した関南町関本下の用水路

成するため、生態系や景観を考慮したとのことで、用水路の護岸の整備に自然石を使ったり、堰には魚道が設けられています。いずれも今後、その効果のほどが注目されます。

小学校の入学式に、例年どおり市議会議員として招待をいただいた。ところが今年、君が代斉唱のときに起立することを強く求められた。自分なりの判断として、やむをえず私は列席を辞退した。

これは、朝鮮から連れてこられて従軍慰安婦にされ、自殺をかけたけれども死にきかず、戦後も故国に帰れず孤島に暮らしている方を歌ったものだ。同じ女性として私も震える思いで聴く。また、次は沖縄の集団自決体験者の話である。「手榴弾で自決を図るも死ねず、校長先生は自らカミノリをもち愛する妻の首に何度もあてた…」

「なし崩し」に不同意 鈴木やす子

学校の主人公は子どもたちであり、その声に教員たちが真摯に耳を傾ける、そんな教育の場が保障されていたら、人は、もっと自由に、命と心を伸ばすことができるはずだという思いがふくらんだ。

ひとり人間として母親として、人が傷つけられ殺されることは許せない。人は誰も命を輝かせるために生まれてくる。いま生きている世界が、お互いがお互いを慈しみあい、大事にされる社会であってほしいと願わずにいられない。

日本の近代において、特に日本が起こした先の大戦でのその決定的な役割。そういう過去を引きずっている旗、天皇を神格化している歌に、私はどうしても共感・同意することはできない。

うちの長女が小学校に入学するころ、従軍慰安婦の問題がクローズアップされた。あまりに残酷な話に、戦争の無惨さがいつそう胸に刻みこま